

# 第5回いのちの光 3.15 フクシマ

～3.15 から 7年 フクシマが背負ってきたもの  
伝えつづけるもの～

「2011年3月15日」

それは、東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所が3度目の爆発を起こし、フクシマへと運命を変えた日です。福島第一原発から約25kmの距離にある、カトリック原町教会でのミサによる祈りと、現地の人々の声を聴き、「いのち」のあり方について共に考え、メッセージを発信していきます。それに先立ち10日には、カトリック元寺小路教会にて講演会を開催致します。ぜひご参加下さい。

2018年3月10日(土) 14:00～16:00 (13時開場)

～講演会～

講師：小出 裕章 氏 (元京都大学原子炉実験所助教)

会場：カトリック元寺小路教会大聖堂 (宮城県仙台市)

3月15日(木) 13:30～16:00

「いのちの光 3.15 フクシマ」

～ミサ～

司式：仙台教区長 マルチノ 平賀 徹夫 司教

～現地の声～

講師：小澤 洋一 氏 (ふくいち周辺環境放射線  
モニタリングプロジェクト共同代表)

会場：カトリック原町教会 (福島県南相馬市)

※両日とも申込み不要、予約不可 (参加費はカンパでお願いします)

※収容人数を超えた場合は入場をお断りすることがございます

主催：「いのちの光 3.15 フクシマ」実行委員会

代表：勝治(かつや) 問合せ TEL：080-9634-2587 (栗村)

Mail：inochinohikari315@yahoo.co.jp

後援：カトリック仙台教区

協賛：日本カトリック正義と平和協議会

カトリック正義と平和仙台協議会

※ 私達は、原発事故について、福島だけに限定せず幅広い社会問題として捉えるため「フクシマ」という表記を用いています。